

# めぶき東アジアレポート

## MEBUKI EAST ASIA REPORT

Shanghai / Hong Kong / Taiwan

2023年9月号

【上海通信】百度アポロパーク視察から見る中国の自動運転	1
【東アジア駐在員コラム】香港の中秋節と月餅について	3
【ニューストピックス】2023年7月～8月の動き	3
【めぶきFGアジアネットワークのご紹介】	4

### 常陽銀行上海駐在員事務所

上海市長寧区延安西路2201号  
上海国際貿易中心1901室  
TEL : +86-21-6209-0258  
E-mail : joyosh@uninet.org

### 足利銀行香港駐在員事務所

Suite 1601, 16/F, Tower 2 The Gateway  
Harbour City, Tsim Sha Tsui, Kowloon, HK  
TEL : +852-2251-9475  
E-mail : hongkongrep@ashikagabk.com.hk

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願いいたします。

発行元：常陽銀行市場国際部





# 【上海通信】 百度アポロパーク視察から見る中国の自動運転

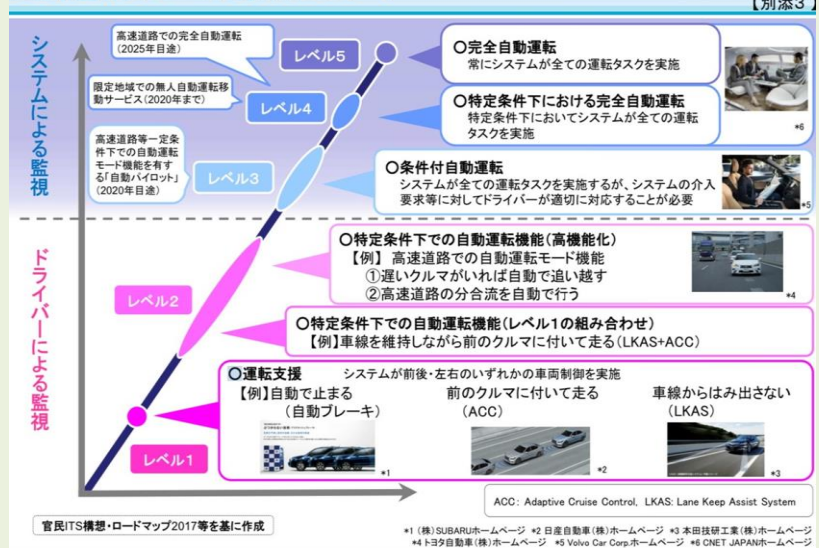
## 1. はじめに

近年、中国では自動運転技術の研究開発が急速に進んでいます。一部の大都市では、自動運転車が一般のタクシーと同様に客を乗せて営業するなど実用化も開始されています。今回、筆者が視察した自動運転の最先端「百度アポロパーク」の様子も含め、中国の自動運転の現状についてレポートいたします。

## 2. 自動運転とは

自動運転とは、「乗り物や移動体が人の操縦によらず、機械が自立的に行う」ことを表します。自動運転の実用化は、人為的な交通事故の防止のみならず、渋滞に繋がる運転の抑止、高齢者の移動手段の確保、CO2の削減など、安心安全な人と物の移動に繋がることから大きな期待が寄せられています。一方で、事故が起きた時の責任の所在、新たな交通法規の整備、自動運転の安全性・信頼性の実証など今後解決すべき課題も存在しています。現在は、米自動車技術会が定めた自動運転のレベル5段階（世界共通）について、各レベルでの課題を一つずつクリアしながら完全自動運転の実現を目指しています。

### 自動運転のレベル分けについて

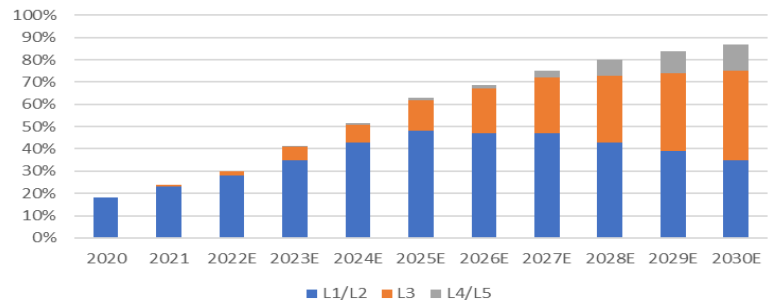


出所：国土交通省

## 3. 中国自動運転の市場規模と現状

統計調査会社Statistaによると、2014年の中国自動運転市場は228億元（約4,600億円）の規模でしたが、2018年には890億元（約1兆8,000億円）と4年間で約4倍に広がっています。また、自動運転の浸透率は2022年で約30%ですが、このほとんどはドライバーの監視が必要なレベル1～2の水準になります。中国政府が2020年に発表した「スマートカー革新戦略」では、2025年にはレベル2～3の浸透率を50%に、2030年にはレベル3～4を40%にまで引き上げる方針を掲げるなど、国家総力を挙げ完全自動化を推進しています。

### 中国の自動運転市場浸透率の予測



2020-2030中国の自動運転市場浸透率の予測

レベル	2020	2021	2022E	2023E	2024E	2025E	2026E	2027E	2028E	2029E	2030E
L1/L2	18%	23%	28%	35%	43%	48%	47%	47%	43%	39%	35%
L3	0%	1%	2%	6%	8%	14%	20%	25%	30%	35%	40%
L4/L5	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.5%	1.0%	1.5%	3.0%	7.2%	10.0%	12.0%

出所：FNA

## 4. 普及状況

近年では、百度、滴滴、AutoX、NIO、小鹏といった主要企業がしのぎを削り、自動運転技術レベルの向上に取り組むほか、中国の主要都市において実証実験が実施されています。特に中国最大のIT検索エンジン企業の百度は、その中心企業として自動運転分野を牽引しています。

百度は既に、北京、上海、広州、重慶、滄州、深圳、長沙の7都市で自動運転タクシーのサービス実証を開始しているほか、2030年までにサービスエリアを100都市に展開するといった意欲的な目標を掲げています。最近北京では、60km<sup>2</sup>の限定されたエリアの中ではありますが、200台規模で完全自動運転の有料配車サービスを実用化するに至っており、目標実現に向けて着々と前進しています。

## 5. 百度アポロパークを視察して

筆者は今回、上海市の郊外にある嘉定区の「百度アポロパーク」で試行されている自動運転車に試乗してきました。私が試乗した自動運転車の上の天井部分には専用センサーが付いており、このセンサーが百度の地図アプリ「百度地図」、カメラ、モニターなどと連携することで、現在地や対象物・人を検知し、スムーズな進行、車線変更、旋回、停車を行います。約10分の公道での走行ながら、初めての自動運転車の試乗ということで少しドキドキしていましたが、人が操縦するよりも癖のない運転で非常に安心感を覚えました。仮に事故やトラブルが発生しても安全管理センターが走行中の全ての車を監視しており、遠隔で緊急操作ができる仕組みとなっています。（※写真は全て筆者撮影）



百度アポロパーク



建物内には自動運転車がズラリ



走行中の様子（天井にセンサー）



室内（補助員は座っているだけ）



歩行者を確認すると自動停止



自動運転タクシーの利用方法

担当者の説明によると、現在上海市では嘉定区のみで実証が行われていますが、今年度下期からは同市浦東新区でも実証を開始するとのことです。試乗を終えて、自動運転実用化の未来がすぐ近くまで来ていることを改めて実感することができました。視察者からは「中国の自動運転の最終目標は？」という問いがありましたが、担当者からは「空飛ぶ車や航空産業などへの次世代技術の応用」との回答がありました。

## 6. おわりに

今回の視察で、自動運転の技術の進歩に大変驚かされました。中国の自動運転技術は、エリアを限定するなど一定の条件下での実証段階ではありますが、完全自動運転が実現する日もそう遠くないと思います。引き続き中国の自動運転の発展に注目していきたいと思います。

（常陽銀行上海駐在員事務所 王嬌）

### ～香港の中秋節と月餅について～

中秋節は、毎年旧暦8月15日（今年は9月29日）に行われる、秋の豊作や満月を祝う中華圏の伝統行事です。そのはじまりは中国の殷時代（紀元前17世紀頃～紀元前1046年）とされ、およそ3000年もの歴史があるとされています。行事の内容は国や地域によって異なりますが、香港では、普段より早く仕事を切り上げて、家族揃って食事をし、その後は外へ出かけて満月を見たり、ランタンフェスティバルやファイヤードラゴンダンスといった催し物を楽しみます。ちなみに、中秋節の翌日は祝日に設定されており、地下鉄は終夜運行し、街は夜遅くまで賑わいます。

中秋節で欠かせない食べ物と言えば月餅で、家族団らんの際に食べるだけでなく、友人や企業間の贈り物としても定着しています。香港の伝統的な月餅は、塩漬けたアヒルの卵黄と蓮の実の餡を包んだものですが、今ではアイスクリーム月餅など様々な商品が登場しており、またルイ・ヴィトンやスターバックスといった国際企業も参入するなど、市場が活発化しています。

今年の月餅商戦は7月上旬に始まり、店頭にはバリエーション豊かな月餅が並びました。私は家族やお世話になった方へ向けて、人気のカスタード餡の月餅を購入しました。中秋節当日が晴れることを祈りつつ、月餅を食べるのが今から楽しみです。（足利銀行香港駐在員事務所 現地スタッフ 温秋芳）



香港の有名ホテルの月餅（筆者撮影）

## ニューストピックス

- ・新エネ電源が35年に5割超え 太陽光・風力に16年で11兆元投資（8/18）
- ・電動車世界販売、BYDが30万台差の1位（8/18）
- ・碧桂園の社債3本1,370億円相当、支払い不確実性（8/18）
- ・7月都市部失業率5.3%に上昇、若年データ発表停止（8/17）
- ・7月の訪日中国人、30万人台を回復（8/17）
- ・日本など78カ国向け団体旅行解禁、3年半ぶり規制解除（8/16）
- ・世界NEV販売で中国シェア64%に、うち8割はEV（8/16）
- ・TikTokの広告収入が急成長へ来年にもユーチューブ並みか（8/15）
- ・碧桂園(中国不動産大手)が上期1兆円の赤字に（8/14）
- ・中国各地で日本産管理強化、業者処罰（8/10）
- ・北京豪雨の死亡不明51人に、129万人被災（8/10）
- ・7月の輸出額、マイナス継続14.5%減、外需低迷など影響（8/9）
- ・中国の車輸出が世界首位、214万台＝1～6月（8/7）
- ・日本の農産物・食品輸出、上期は中国が首位（8/7）
- ・人民銀、住宅需要刺激へ金利引き下げ促進（8/3）
- ・日産が中国販売29%下方修正、12カ月で113→80万台（7/31）
- ・中国「日本と対話継続」、ビザ免除再開遅れで（7/28）

（出所 NNA・亜州ビジネス）

## めぶきFGアジアネットワークのご紹介

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア（インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行（インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク（ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁（ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行（フィリピン）		●	
インドステイト銀行（インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
パナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供 リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供 各種損害保険の提供
損害保険ジャパン	●	●	
三井住友海上火災保険	●	●	
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供 海外セキュリティーサービスの提供
総合警備保障	●		

常陽銀行 シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 <a href="tel:+65-6225-6543">TEL:+65-6225-6543</a>
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam <a href="tel:+84-24-3218-1668">TEL:+84-24-3218-1668</a>
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 <a href="tel:+86-21-6209-0258">TEL:+86-21-6209-0258</a>
常陽銀行 ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 <a href="tel:+1-347-686-8420">TEL:+1-347-686-8420</a>
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong <a href="tel:+852-2251-9475">TEL:+852-2251-9475</a>
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 <a href="tel:+66-2-261-2852">TEL:+66-2-261-2852</a>

